

みつぎ便り

見次の会

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体です

96号
9月号

平成26年9月1日

<http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2014/000253.html>

アカメガシワ

前野中央通りから電話ボックスを右手に公園の古径を進んで行くと、ポート小屋の向かいの崖のふもとに生えている背の高い大きな木が今回紹介する「アカメガシワ」です。

約一ヶ月ほど前に、役所の好意により樹名板を作って頂き無名の大木を卒業しました。アカメガシワは初夏に花を咲かせ晩秋に濃い小豆色の実を落とし野鳩たちの格好の餌となっています。

少し寒くなつた朝のラジオ体操に参加すると鳩たちが落ちた実をついばむ姿を見ることができま

す。樹皮は「胃腸炎、十二指腸潰瘍、胃酸過多」、葉は「腫れ物、あせも、湿疹」に効能があり、薬草酒、薬用酒や入浴剤にも利用されるそうです。

さらには草木染めの染料にもなり、新芽は茹でてさらし「和え物、炒め物、天ぷら」などの食用となります。

コムスジ（小三條）

（安）

コムスジは、タテハチヨウ科の仲間、はねの色は濃い色の褐色をしていて、名前の由来でもある三の字のように、三本の白い帯のように見える模様の特徴です。はねを開いてとまることが多く、この三筋模様をよく見ることができ、人の気配などには敏感で、不用意に近づくとすぐに飛んでしまいます。飛び方にも特徴があり、はばたきと滑空を交互に繰り返すような飛び方をします。

はねの大きさはモンシロチョウくらいのサイズで、前のはね

は、付け根から先端までおよそ二〜三cmあります。

ほぼ全国に分布しており、都市郊外や林などにごく普通に見ることが出来ます。幼虫は三齢以降は背中の一部や腹部は緑色となります。からだの前と後ろには小さな突起があります。食草は、クズ、ハギなどの植物の葉を摂っているようです。

冬には三齢幼虫で越冬します。見次公園にもよく花壇の花や、ネズミモチ、アカメガシワなどの花の蜜を吸いに飛んできますので注意深く観察してみてください。

（圭）

